

人類の進化 ホモ・サピエンス



問題 展示番号34～39

新人の拡散 ユーラシアへ (展示番号36)

- (1) クロマニヨン人・とネアンデルタール人の頭蓋骨が展示してあります。両者を比較して空欄を埋めてください。

	ネアンデルタール人 (旧人)	クロマニヨン人 (新人)
<頭骨の特徴> 頭骨の外形 眼窩上隆起、 <small>がんかじょうりゅうき</small> 頤 <small>おとがい</small> の発達の程度		
<石器>		
<文化的特徴>		

*眼窩上隆起 (がんかじょうりゅうき) : 目の上にある骨がひさしのように突き出た部分

*頤 (おとがい) : あごの先の突き出た部分

新人の拡散 オセアニアへ（展示番号37）

- (2) ポリネシアの古代カヌーが1/3のサイズで復元されています。これは何のための航海なのでしょう。また、カヌーには何が積まれていますか。下に書いてください。

新人の拡散 北部ユーラシアへ（展示番号38）

- (3) スンギール遺跡の墓を見てわかったことを書き込んでください。

新人の拡散 アメリカへ（展示番号39）

- (4) ホモ・サピエンスの世界中への拡散は大変速いものでした。様々な環境へどうして素早く適応できたのか、考えて書いてください。